

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	ふるさと会連合会総会開催事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	13 地域内産業の多様な連携												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間	11	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田市出身者 在京マスメディア 東京ふるさと会と関連ある首都圏等都市生活者	ふるさと会の活動を知った人数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	人脈の形成	総会に参加した人数(人)	18目標	700	最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	
18目標				最終目標			
		18実績		19目標		↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	2年に1度のふるさと会連合会の総会を開催し、飯田市出身者 在京マスメディア 東京ふるさと会と関連ある首都圏等都市生活者相互の情報交換と、飯田市と首都圏との人脈形成を図る。	18年度の実績		
		700人規模のふるさと会連合会の総会を開催する。総会を通じて首都圏との人脈形成を行い、物心両面から交流を深める。	総会に開催までに係わった延べ人数。(人) 総会までの準備会の開催数(回)	
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		1,943
	事業費計(A)	0	1,943
人件費	正規職員所要時間	18年度 160	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	572	715
	トータルコストA+B	572	2,658

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	観光消費額(円)	現状値	14500000	19実績	15000000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	経済自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<b>この事業を開始したきっかけ</b> 平成11年首都圏在住の出身者からの提案で設置。2年に一度信州飯田ふるさと会連合会の総会を開催し、さらにふるさと大使館を核とした情報発信を行っている。	<b>事業を取り巻く状況の変化</b> 首都圏在住者のふるさと志向ないしはふるさと回帰といった志向は益々高まっている。また、有効な情報発信による南信州地域のイメージの確立も内外から期待されている。	<b>事業に対する市民や議会の意見</b> ふるさと会員(首都圏在住者)からは次世代の参加を望む声が強し、中央で活躍する若い会員との人脈形成が期待されている。
--	---	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 人脈の形成が経済力の強いまちづくりにつながる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <b>余地がある</b> (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 首都圏における情報の受発信が減少する。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) ふるさと回帰指向の高まりは社会的にも認知されている事項であり、現状で継続すべきである。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由) 他に類似事業はない。大使館の運営は当地区では飯田市のみ、他の事業との統廃合は不可能。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 飯田市と中央とのパイプを維持するためにも、市が関与する必要がある。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <b>不可能</b> (その理由) 担当職員は1名であり削減できない。
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 <b>具体化</b>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 総会の事業内容について検証する。 平成19年度は市制70周年でもあり、前回の継続とすが、規模・あり方については総会終了後再度検討する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	